



各学校における学校経営計画(教育計画)作成の意義

所長 黒木 義成

本年度も残すところ二ヶ月となりました。各小・中学校では、現在、次年度に向けての様々な計画書の作成中かと思えます。その中でも「学校経営計画書」(いわゆる教育計画)は、各学校における一年間の教育活動の方向性を明確に示す計画書となっています。「学校経営計画書」の内容としては、一例を示すと次のような構成が一般的となっています。

(例)

- 一 学校の現状分析(基本数、前年度からの課題事項)
- 二 学校教育目標
- 三 重点事項(努力点)
- 四 経営目標(中、長期目標・短期目標)
- 五 学校経営構想
 - ① 学校経営全体構想
 - ② 校務運営構想
 - ③ 教務運営構想
- 六 経営計画
 - (一) 教育計画
 - 平成〇〇年度教育課程
 - ① 年間授業時数
 - ・通常の学級の教育課程
 - ・特別支援学級(障害種別)の教育課程
 - ② 日課表
 - ③ 校内研究推進計画
 - ④ 特色ある学校づくり
 - ⑤ 年間行事計画
 - ⑥ 県の努力事項にそった計画
 - (二) 学校運営計画
 - ① 校務運営規程
 - ② 校務運営組織図及び校務分掌表
 - ③ 校務決裁規程
 - ④ 諸費会計等取扱要綱
 - ⑤ 文書取扱規程
 - ⑥ 不祥事防止に係る年間計画
 - ⑦ 小中一貫教育推進構想
 - ⑧ 情報管理規定
 - ⑨ 開かれた学校づくりの計画等



「学校経営計画書」は、各市町村によっても内容構成等が異なっており、統一したものはありません。那覇市内の小中学校においては、教育委員会発行の「那覇市の学校教育」いわゆる赤表紙を「学校経営計画書」作成資料として活用し、更に学校ごとの課題解決を図るための具体的方策を示す計画書として作成されています。特に、校内の一六について各学校は、前年度の課題を明確にし、その対応策を具体的に記載することが大切かと思われます。そして最も重要な事として、「学校経営計画書」が、教師一人一人に、日常的に活用できる計画書として認識され、学校経営への参画を自覚できる資料であるということです。

2月の教育研究所事業予定

- 4日(木) 第4回情報教育担当者研修会
- 12日(金) 第11回教職10年経験者研修
- 16日(火) 教育研究員原稿検討会

経年研修(学校訪問等)の御礼

本年度は、各経年研修を通して全152回の学校訪問を実施しました。訪問等に関する資料や指導案の作成、授業参観・授業研究会において校長先生や教頭先生、校内の先生方に御指導・御助言等をいただき、充実した訪問になりました。御協力ありがとうございました。

- 初任者研修 学級経営訪問(59回)
- 教職10年経験者研修 授業公開(43回)
- 教職2年目研修 授業公開(50回)

教育研究実践論文受賞式

第23回教育実践論文表彰式が1月30日(土)沖縄かりゆしアーバンリゾート那覇で行われ、本研究所で研修を終えた先生方から優秀賞1名、優良賞3名が表彰されました。おめでとうございます。今後も各学校での御活躍を期待しております。



- ◎上間幼稚園 仲田麻衣子教諭
「伝え合う喜びを味わえるようになるための援助と環境構成の工夫」
- ◎宇栄原小学校 下地美喜子教諭
「確かな読みの力を育む説明的文章の指導の工夫」
- ◎大名小学校(現：浦城小学校) 金城里子教諭
「児童が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する外国語活動の工夫」
- ◎寄宮中学校(現：城西小学校) 上原裕子養護教諭
「自らの健康を守る生徒を育むための保健指導の工夫」